

今年の箸技大会も、白熱した戦いとなりました。



おひやり

No.373
令和6年2月10日発行
社会福祉法人円福会
円福寺愛育園
園長 藤本光世

能登半島地震

園長 藤本光世

正月一日の午後4時ころ、携帯から「地震です、地震です」の音が響き、すぐに大きな揺れがありました。私はその時翌日の大黒天祭の準備で山門の掲示板を付け替えていました。ケヤキの大木が揺れ、地面が波打っていました。揺れが収まるのを祈りながら、大きな地震だ。震源地は近くだ。どこだろうかと思いました。



震源は能登半島沖でした。珠洲市、輪島市が壊滅的な被害を受けていました。輪島市門前には11月末に子どもたちと訪問した、総持寺祖院があります。大丈夫だろうか。そう思っているとすぐに、大圓寺さまから祖院の写真が届きました。山門と法堂は大丈夫な様子でしたが、小さな建物が潰れ、戸やふすまが壊れて倒れ、石垣が崩れ、私たちが訪問した時には笑顔で迎えてくださった祖院さまが大きな被害を受けているのが分かりました。



翌朝行った輪島朝市は地震が誘発した火災で、すべての家が全焼してしまい、跡形もなくなり、亡くなった方もいることを知り、あの時笑顔で迎えてくださったおばちゃんたちはどうなっただろうか、不幸のどん底に突き落とされたらと思うと、本当

に悲しくなりました。

せめてできることをやろうと、5日に義捐金を振り込み、そして子どもたちに励ましのメッセージを書いてもらって祖院さまへ送ることにいたしました。でも、まだインフラが復旧してなくて送ることができません。早く届いてご覧になっていただきたいなあと願っています。

愛育園の取り組みを地元の長野市民新聞が取り上げてくださいました。



石畳がめくれ上がった
祖院の山門

被災の寺院へエール

円福寺 愛育園 児童ら色紙を製作



色紙のコピーを掲げる藤本理事長

篠ノ井横田の児童養護施設「円福寺愛育園」で生活する小学2年生〜高校3年生28人が、能登半島地震で被災した石川県輪島市の曹洞宗「総持寺祖院」に対する応援メッセージを色紙に書いた。子どもたちは昨年11月に1泊2日の研修旅行で同寺に滞在し、寺関係者と交流した縁がある。色紙は輸送インフラが整い次第送る。色紙は2枚あり、「1日でも早い復興を祈っています」「僕たちが応援していることを忘れないでください」などと記した。「届け！このエール」と入れた横断幕を子どもたちが掲げる写真も添えた。旧曹洞宗大本山として多くの文化財を擁する同院は、今回の地震で国登録有形文化財の複数の建造物が全壊。本堂の柱が外れたり、山門の石畳がめくれ上がった。修理では、子どもたちが同院の導師や雲水(修行僧)と寝食を共にして座禅や清掃を体験。地震で約200棟が全壊した市内の朝市通りでも買い物を楽しんだ。理事長の藤本光世・円福寺住職(76)は「交流した方々のことを思うと言葉がない。境遇は違えど毎日を気丈に頑張る子どもたちの応援が、少しでも関係者の心の励みになればいい」と願っている。

被災地の皆さんが、大きな災害を乗り越えて復興し、幸せになってくださることを祈っています。

子どもの幸せ

児童養護施設は3年に一度の第三者評価を受診しなければなりません。今年度は受診年です。(受診年以外は「自己評価」を実施します)

1月15,16日に二人の評価委員がみえて、愛育園の養育目的やその実現のためにどんなことをしているかなどを聞かれ、お話ししました。それからたくさん書類を見ていただきました。

養育目的の「子どもを幸せにする」ことをお話ししながら「子どもを幸せにする」には、子どもの持っているドロドロした悪い心を取り去って、良い心を表に出して輝かせてあげることが重

要と気づきました。このことがなんと難しいのでしょうか。愛育園のように良い集団作りをし、良い集団が集団の力を生かした様々な行事や遊びを工夫し、職員は発生する様々な暴言、挑発、言いがかりなどに対応し、それらを発した子どもと関わり、あるいは対話して、傷つけられるのを覚悟して、悪い心を正してあげないかぎり、子どもは幸せになれないのです。悪い心をそのままにして欲求や権利を主張させ、それに負けて言いなりになり、職員が使われる状況では、子どもは幸せになれません。

父が 50 周年記念誌の福祉時代の課題に書いている『一般の児童が高級ブランド品を持っているからそれをよこせとか、毛を染めたりピアスをしたり、あるいは高校生が保母に「あんたたちは給料貰っているんでしょう。私たちの世話をするのは当然でしょう」とスカートのアイロンかけまで保母にさせる』(57p) 子どもは、幸せになれないのです。そんなことを言う悪い心を正さなければなりません。

当園にそんなことを言う子は一人もいないのですが、言いがかりや暴言や挑発や職員や子どもを傷つけるさまざまな言動は日常にあるのです。それを正し子ども自身が自分から心を正す、そんな心にならなければならないのです。どんなにか難しいこととお分かりになっていただけたと思います。

そのために、私は子どもが自分に自信を持つことが、とっても重要と思っています。75 周年の扇子演舞で、100 人以上のお客様の前で素晴らしい演舞を披露することはその一つですし、箸技大会で、大勢の観衆の前で世界一の記録を出して優勝することもその一つなのです。そう思うと、一つ一つの行事で最高のもを創ることの重要性がお分かりになっていただけたと思います。

1 月 27 日の当園の第 14 回箸技大会も、2 月 3 日の国際箸学会主催第 8 回箸技大会も、子どもたちにとってそんな場になることを願っています。

第 14 回箸技大会

主任指導員 T.M

1 月 27 日、第 14 回箸技大会がありました。第 3 回大会まで食堂の片隅で小さく開催していた行事が、今や愛育園の一大行事となって、毎年、白熱した戦いが繰り広げられています。今年もとても盛り上がりました。

箸技大会の中の「箸ピー競技」について説明します。赤と黒の箱(高さ 1.5 cm 縦横 15 cm 程)が二つ並べられ、片一方には 50 個の落花生を模したピースが入っています。後は、箸でつまんでひたすら空き箱の方に 50 個のピースを移動し、50 個運び終えたら、元の箱に戻す。これを繰り返すだけです。とても単純です。右手と左手でそれぞれ 1 分間の制限時間の中で運べた個数を合計したものが記録となります。

やってみるとわかりますが、最初は、利き手でも、まず 100 個に到達するのが難しいです。更



に利き手でない方は全く手が言う事を聞きませんので 20 個くらいで終わってしまう可能性が……。ちなみに私は一時期少しだけ上達しましたが、ここ 7、8 年はずっと右手 120 個、左手 60 個の合計 180 個の記録で停滞したままです。第 3 回大会(11 年前)を優勝した子の記録は 207 個でした。当時、200 個以上の記録は神業ともいべき記録でした。その子が両手を器用に使いこなす事もあって、第 1 回から 3 連覇して、誰も彼の記録に近づく事ができませんでした。

さて今年、優勝した子の記録はいくつだと思いますか？なんと 329 個です。2 位は 317 個。3 位は 312 個。4 位は 301 個。……もう 300 個超えないと優勝争いに絡めなくなってしまう次元にレベルが上がってしまいました。上位層だけでなく、もうほとんどの子が 200 個や 250 個以上の記録を持っています。

子ども達の力は本当にすごいなと思います。集中力、好奇心、一生懸命さや熱中っぷりはもちろんですが、何よりすごいと思う事は、一回一回大会が積み重なる毎に、記録の限界(新記録)が伸びていく事です。スポーツでも何でも大体記録の相場というものがあると思います。競技によって練習による上達やベストコンディションの時にはある程度記録が伸びるという事はあると思いますが、この箸技に関していうと、第 1 回から第 14 回までの間に記録が 100 個も 150 個も上がっています。信じられません。箸ピーに関して、きっと子ども達には「これくらいが限界」という概念がないのだと思います。私には「200 個いったら神業」という第 3 回からの概念がありません。だからずっと 180 個で止まっているのだと思います。いつか子ども達が実際にプレイしている所を見てもらいたいです。もう誰も落花生をつまんで移動してと悠長にやっている子はおらず、さながらキツツキのくちばしの様に落花生をついばんでシャンシャン移動していきます。そんなやり方、ふつう思いつかないし、できません。



この箸技を通して、箸の使い方の向上や熱中する事の大切さや、そこから生まれる交流を大切にしてほしいと思っていますが、何よりも子ども達には自分の力で限界を突破し続けられている事実を強く自覚して欲しいと思っています。普段の生活ではつい限界を低く設定しがちで、あきらめが良すぎる一面もあるので、そんな必要はない事を箸技の経験から、子ども達が普段の生活に落とし込んでいってくれたらいいなと思い

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ます。そして私たち職員も子ども達の箸技に対する姿勢から沢山学んで養育のあり方を見つめなおしていきたいと思います。

園内の箸技大会の一週間後、国際箸学会さんが主催するもう一つの箸技大会にも参加させて頂きました。白熱したこちらの大会の様子も是非、来月号でお伝えしたいと思います。

第14回箸技大会

あおぞらホーム Y・S



1月27日に第14回箸技大会が開催されました。この日の為に子どもたちは毎日毎日練習を重ねてきました。今年は初めて参加する子も多かったです。そんな中練習を見ていると、経験してきた子はもちろん今まで以上にいい結果を出そうと気合いが入っていましたが、初めて経験する子たちは経験者に負けたくない、という強い思いで練習していたのが伝わってきました。公式の練習

時間以外でも「練習したいです」と言ってきたり、積極的に日々の結果表の記入を手伝ってくれたりみんなの良い雰囲気が初めての子にも伝わり結果的に皆一丸となっているように自分には見えて本当にいい感じのまま大会を終えることが出来ました。また次週には埼玉県で行われる本場の大会にも参加することになっており、いい雰囲気を継続したまま愛育園の力を発揮できればいいなと思います。

第14回箸技大会

あおぞらホーム A.K

1月27日に第14回箸技大会が開催されました。今年は恒例の個人戦・ホーム対抗の団体戦に加えて、チーム対抗の団体戦も行われました。チーム対抗の団体戦では児童・職員関係なく、4チームに分かれてリレー形式の試合が行われました。それぞれのチームで一致団結して、最後までリレーを繋ぐ姿はとてまかつよかったです。個人戦・団体戦ともにとてま白熱した戦いが繰り広げられました。

箸リン個人戦の決勝戦で私は高2のSさんの審判をつとめました。左手が終わった時に、Sさんが「左手でこんなにいったの初めて！」ととても嬉しそうにしていたことを覚えています。その表情を見たとき、私自身もとても嬉しい気持ちになりました。そして結果ですが、Sさんは無

(令和6年2月10日発行 月刊「円福」521号付録)

事に優勝を勝ち取り、笑顔でトロフィーを受け取っていました。

箸ピー大会の練習は大会の二週間ほど前から始まりますが、決められた練習時間以外にも自主練習を行う、児童の姿も多く見られ、その努力は大会が終わったあとの、あの清々しい表情に繋がっているのだと、改めて思いました。それと同時に、この行事は素晴らしい行事であると、再確認できた気がします。

第14回箸技大会 児童感想 あおぞら

1月27日に第14回箸技大会がありました。僕は、今回で最後の大会になるので「箸ピーの部門で優勝する」という目標を掲げていました。

まず練習では、『最低でも常に「右で180以上、左で110以上」の記録を出すことを目指し、自分の記録がなるべく一定になるようにする』という目的を持って練習に励みました。また、僕よりも速い人の豆運びを見て参考にして、それを真似してより自分が速くなるように試行錯誤しながら高めていくようにしました。すると合計で300以上の日が増え始め、本番までにとてま自信がついていました。

そして、本番の日がやってきました。開会式が始まったときからすごく緊張しました。箸技大会では、最初に箸リンからやりました。僕は箸リンが苦手ですが、「絶対に、決定戦には出る」と思いながら挑みました。右は調子が良かったのですが、左が全くのびず、合計127でした。ギリギリ決定戦に出れるか出れないかの記録だったので、とてま不安になりました。しかし、箸ピーの部分になるとときには気持ちを切り換えて、臨むことができてよかったです。箸ピーでは1回目に合計が291で記録がのびなかったのですが、すぐに気持ちをリセットして2回目には合計324を出すことができ、決定戦を確実にできてよかったです。予選の次には団体戦をやりました。あおぞら対まごころでは、選抜メンバーとして出場しました。そこで2年連続で勝つことができてよかったです。決定戦では、箸リンと箸ピーの2つに出ることができました。箸リンでは緊張してあまりいい結果がでなかったのですが、箸ピーでは、緊張せずに自分の力を100パーセント出すことができました。



結果、箸リンでは8位だったのですが、箸ピーは329個で優勝することができました。目標を

達成できて良い思い出になりました。

高3 A・Hくん

1月27日土曜日に箸技大会がありました。参加するのは初めてでしたが、練習含めこの2週間の間に色々なことがありました。

箸技自体はほとんどやったことはありませんでした。なので、練習の序盤は周りに追いつこうと焦るのではなく、自分のペースで進めていきました。日を重ねるにつれ、箸ピーの自己記録を更新していき、200個を超えたときはとても嬉しかったです。その頃から周りに1個でも追いつこうと練習に励みました。しかし、それ以降は思うように記録が伸びず、自分にイライラしたり、半ば心が折れかけた時もありました。皆は250個、300個を毎日のように出しているのにどうして自分は出来ないのかと悩んだ時もありました。それでも、自分に嫌気が差しつつも、コツコツと練習をやりました。すると、あっという間に本番の日になってしまいました。団体戦では迷惑をかけたくないという思いもあり、少し気持ちは沈んでいました。ですが、いざ本番になってみると、どうにでもなれ、自分の精一杯を出し切ってやろうと思えるようになりました。

そうして迎えた個人戦、やっぱり左手は不慣れで上手には出来なかったけど、自分を出し切れたと思います。結果は、231個と自己記録を上回った結果でした。それをバネに団体戦でチームレッドとして優勝できました。団体戦は自分だけじゃなくチームとして挑んだので、応援もたくさんしました。



今大会は自分にとって嬉しくもあり、悔しいものでもありました。来週には埼玉県川口市で行われる大会もちろん、来年はキング決定戦に出たいです。そのために練習に打ち込んでいきます。

高1 S・Nくん

第14回箸技大会 児童感想 まごころ 『箸ピー大会』

中3 M・N

1月27日に第14回箸ピー大会が行われました。今年は、箸学会の方が3人と通明小の先生方が2人来ました。日々の箸ピー、箸技練習では記録更新できなかったときもたくさんありましたが、一生懸命取り組むことができたのでよかったです。その結果が本番で出すことが出来ました。個人戦では、箸技がとても調子がよく、右が94で左は53の合計147でした。今までよ

りも最高の記録が出ました。とても嬉しかったです。箸ピーは左手が調子悪く、いつもよりも記録が出せませんでした。300は超えることができよかったです。次に団体戦を行いました。今年はずっと違って、組み合わせ抽選会を行いました。4チームあり、レッド、ブルー、イエロー、グリーンがありました。くじ引きで1から4までの数字があり、その番号でトーナメント戦を行いました。私はブルーチームの代表としてくじを引きました。はじめにイエローチームと戦いましたが、負けてしまいました。とても悔しかったです。一人差くらいで負けました。次にグリーンチームと戦い、負けてしまいました。4位の景品としてハイチュウをもらいました。好きだったのでとても嬉しかったです。次は毎年恒例のまごころ対あおぞらで行いました。いい戦いでしたが、私は豆を落してしまい、最悪でした。けど、一生懸命行うことが出来ました。結果は負けでしたが、去年の川口市での大会では勝つことができたので、今年も勝ちたいです。最後に、決勝戦が行われ、上位8人しか呼ばれませんが、箸技の方ではなんと1位で名前を呼ばれました。その時はとっても嬉しかったです。ですが、緊張しすぎてしまい、なかなかうまくいかず、イライラしてしまいましたが、呼ばれたからにはと思いき、しっかりやることができよかったです。計120くらいでした。もっと練習が必要だったなと思いました。また、箸ピーの決勝戦では、個人戦でうまくいかなかったので呼ばれるか不安な気持ちでいっぱいでしたが、3位で名前を呼ばれました。嬉しかったです。右は個人戦の時よりも記録が伸びて嬉しかったけど、左は調子が悪く、ぎりぎり300を超えることができよかったです。結果的に、箸技が6位で、もう少し頑張れたのかなと思いました。箸ピーは4位でした。3位に入りたかったです。川口市の大会では頑張りたいです。



『第14回箸技大会』

高1 S・Y

1月27日に第14回箸技大会がありました。私が大会までに頑張った事、当日頑張った事や嬉しかったことは3つあります。一つ目は、記録表への記入です。先生に頼まれた時に快く引き受け、みんなの記録を記入することができました。二つ目はキング決定戦に箸ピー、箸リンの両方に出場することが出来たことです。今年も去年に引き続き、箸ピーキングになりたかったので、大会1週間前はバイトを休みました。でも練習ではなかなか思うような記録が出ず、当日を

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

迎えてしまったので、とても不安でした。箸リンでは焦ってしまい、絶対にキング決定戦には出場できないなと思いました。なので、8位で名前を呼ばれた時はびっくりしました。予選より、20個くらい記録が伸びました。箸ピーは予選4位でした。箸をもった途端、震えが止まらなくなってしまう、右手も左手もあまり納得できる記録ではありませんでした。結果は箸リンが142個で、予選8位から優勝することができました。箸ピーは3位でした。2連覇することができなくて悔しかったです。3つ目は団体戦です。去年はあおぞらに負けてしまって悔しかったので、今年こそはと思っていたけれど負けてしまいました。川口市の大会では絶対に勝てるように練習したいです。その大会では箸ピーの団体戦で2連覇、箸リン優勝を目指して、残り1週間練習を頑張りたいです。

お正月行事

あおぞらホーム S・S

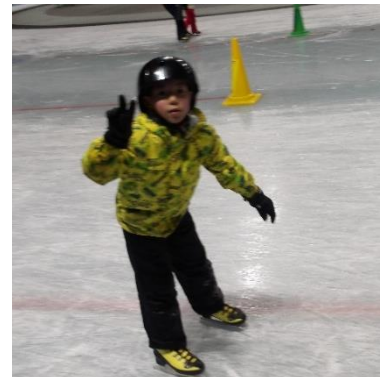
今年度の冬休みは沢山の行事を行わせていただくことができました。まず年内にはプロバスケットボールの信州ブレイブウォリアーズの招待での試合観戦、スケート行事がありました。日頃から体育館で人が集まればバスケットをするほど園の子たちはバスケットが大好きで、行けると決まった日からとても楽しみにしていました。試合では小学校・中学校のOBである三ツ井選手も出場し



ており、シュートを放ったり、活躍するたびにみんな興奮していました。とても熱気のある会場であつという間に時間が過ぎて行きました。残念ながら信州は負けてしまいましたが、最後まであきらめずみんなに応援しました。

スケート行事はエムウェーブで行わせてもらいまし

た。オリンピックで使用した会場だけあって、私の行った事のあるスケート場の中で一番規模が大きく、とても驚きました。初心者の子が多かったので大丈夫かなと思っていましたが、中高生の初心者はめげず滑り続け、30分程で滑れるようになりました。低学年組も、学校のスケート教室で苦戦していた事もありましたので心配していましたが、小3K君もほぼほぼ学校では滑れていませんでしたが、いつの間にか補助なしで一人で滑れるようになっていて、短時間での成長に驚きました。同学年の子の中ではできなくても、園の仲間たちが滑れている輪に加わり滑れるようになった事に、集団の力は凄いと思いました。



年明けは善光寺に初詣に行ったり、城山動物園に行ったり、ボーリング、映画館に行きました。私は、初詣と動物園

(令和6年2月10日発行 月刊「円福」521号付録)

とボーリングに引率致しました。初詣では中3Y君と同じ班に入り、おみくじをしたりスターバックスの善光寺店に行きました。受験生ということもあり、試験が上手く行くように一緒におみくじを引きました。大吉を引き当てることはできませんでしたが、悪い引きではなかったので、本人はとても嬉しそうでした。ボーリングでもY君と一緒に班でしたが、100点を超える接線のゲームを3ゲーム行え、これもとても満足そうでした。他の子たちも、「明日もボーリングに行きたい」と言うほどのとても満足する様子でした。

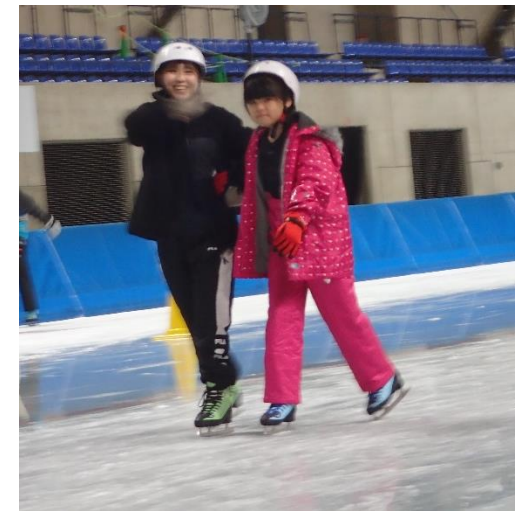
行事を行うたびに子どもたちの嬉しそうな表情が見れ、とてもよい冬休みだったと思っています。これを励みに、しっかりと残りの3学期を過ごし、無事今年度を修められたらと思います。



お正月行事

まごころホーム T・M

まごころホームではお正月行事でスケートに行きました。小学生は初めてで、中学生は小学校のスケート教室以来だったのでそれぞれ不安な所もありましたが、みんな楽しみにしていました。スケート場はお正月ということもあり、たくさんの方がいました。スケート靴を履き、いざ氷の上に乗ってみるとツルツル滑る感覚に慣れず、壁を掴みながら進むことしかできませんでした。職員と手を繋ぎながら滑るのがやっとという感じでした。しかし、何度転んでも立ち上がりたくさん練習をしていくと、だんだんコツを掴みうまく滑れるようになっていきました。最初はうまくいかず顔が強張っていた子も徐々に笑顔が見え始めました。滑れるようになってからはとにかく何周もみんなで滑っていました。帰るのが名残惜しそうな様子も見られました。とても楽しい一日になりました。



あおぞらホームだより

あおぞらホーム A・Y

新年が始まり早1か月が経とうとしています。今年の冬は暖冬と言われていますが、寒い中でも子どもたちは外遊びに行ったり元気いっぱい過ごしています。元旦は毎年恒例となっている

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

横田神社への参拝に行ったり、2日には円福寺大黒天、善光寺へ初詣に行ったりするなどしてお正月を過ごしました。

さて、3学期が始まり中学校3年生は受験が控えていたり、高校生は進路に向けての準備を進めていくなど忙しい時期となっています。それぞれが新年度から新天地で頑張ることができるようサポートしていきたいと思います。

まごころホームだより

まごころホーム M・H

寒さが厳しく、登下校も顔や手を真っ赤にしながら頑張って帰ってくる子どもたちです。暖冬の影響か、雪があまり降らず、雪あそびも数回しかできなかったことは残念でした。

まごころホームには、3人の高校受験を控えた子どもたちがいます。自分たちのペースで取り組んで、長い時間頑張っている姿があります。そんな様子を周りの子どもたちも応援し、温かく見守っている所が、まごころホームのいいところだなと思います。自分の夢が実現できるよう、悔いなく頑張してほしいと思います。

空気も乾燥し、感染症が流行っています。子どもたちが元気に過ごせるよう、支援していきたいと思います。

調理室だより

調理員 O・H

愛育園では行事食を大切にしています。一月は元旦におせち料理、七日に七草粥、そしてお寺より下がってきた鏡餅でお汁粉を子ども達の幸せと健康を願い頂きました。お誕生日も六名いて賑やかで楽しい一年のスタートとなりました。

箸技大会では調理員もたくさんの熱い応援の中団体戦に参加させていただき楽しかったです。

☆☆ お誕生日メニュー ☆☆

- 5日 オムライス 唐揚げ ポテトサラダ チョコパフェ
- 9日 ドライカレー 天ぷら(海老 キス ウィンナー 海苔 南瓜) ポテトサラダ
抹茶パフェ
- 16日 チーズカレー鍋 マカロニサラダ 苺たくさんパフェ
- 19日 醤油ラーメン 手作り餃子 ポテトサラダ フルーツ盛り合わせ(オレンジ
パイナップル キウイ 苺)
- 27日 一風堂鍋 チョコバナナパフェ
- 28日 ざるそば 天ぷら(海老 キス ウィンナー 海苔 南瓜) カミカミサラダ、

(令和6年2月10日発行 月刊「円福」521号付録)

苺シェイク



《元旦メニュー》